

# 鹿児島県におけるチップ加工用バレイショ有望系統「C0453-44」の特性

ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を有し「トヨシロ」並の収量性でチップ加工適性の高い有望系統を選抜

## 背景・目的

- 鹿児島県においてチップ加工用バレイショは、主に曾於、肝属地域及び出水地域で約370haが契約栽培
- 主要品種の「トヨシロ」は、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性がないため、抵抗性を有する品種への転換が必要
- 「トヨシロ」並の収量性、チップ加工適性を持ち、シストセンチュウ抵抗性を有する本県に適応性の高い系統を評価・選抜

## 成果の内容



### 【C0453-44の特性】

- シストセンチュウ抵抗性を有する
- 疫病抵抗性は「トヨシロ」並の“弱”
- そうか病抵抗性は「トヨシロ」よりやや強い‘やや弱’
- 塊茎形状は“球～短卵形”，皮色は“淡ベージュ”，肉色は“白”
- 収量は「トヨシロ」と同程度で、チップ加工時に黒変しにくく、加工適性が高い

表 病害抵抗性および熟期

品種 系統名	病害抵抗性			熟期
	シスト	疫病	そうか病	
C0453-44	有	弱	やや弱	中晩生
トヨシロ	無	弱	弱	中早生

注)シスト:ジャガイモシストセンチュウ

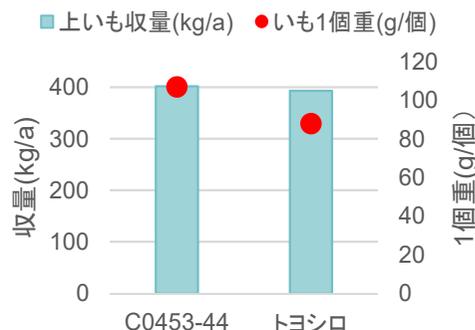


図 収量および1個重

## 期待される効果

「トヨシロ」と同等の収量でシストセンチュウ抵抗性品種への切り替えが可能



シストセンチュウ抵抗性品種への切り替えによる種バレイショ生産の安定化

加工用バレイショの生産安定、生産性向上

○普及対象・範囲

カルビーポテト株式会社のバレイショ契約農家

鹿児島県農業開発総合センター  
大隅支場園芸作物研究室

(民間委託)